

21世紀の森と広場 国庫補助事業再評価

松戸市 都市整備本部
都市緑花担当部 公園緑地課

松戸市全図



21世紀の森と広場 航空写真



現況平面図



自然生態ゾーン 自然生態園 湿地の観察会



水ゾーン 千駄堀池



パークセンター



間伐材を利用した木製遊具



講習会(木の実で工作)

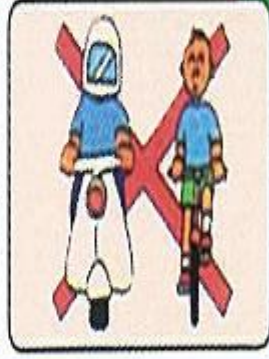
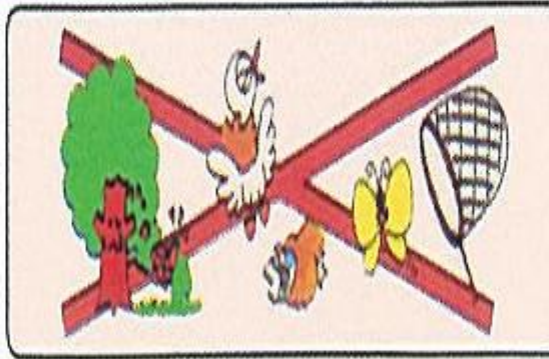


手作業による草取り



公園内禁止行為

ゴミはお持ち帰り下さい。ペットをつれての入園は、できません。

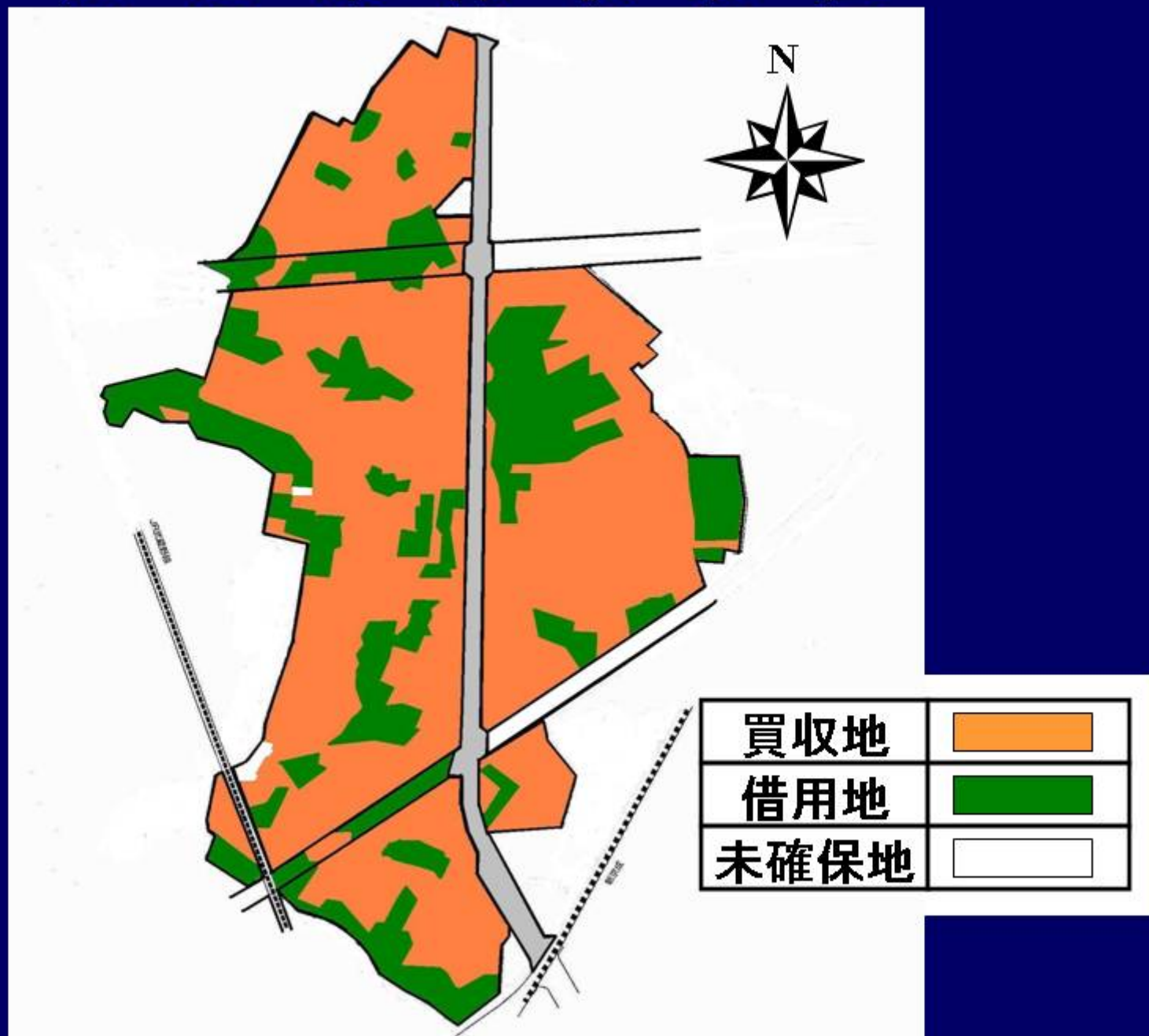


開園時間 午前9時から午後5時まで
(季節により閉園時間が変わります)

整備概況

年 月 日	区 域	供用開始面積 (ha)	供用面積計 (ha)
平成 5(1993)年 4月29日	一部開園	40.14	40.14
平成 6(1994)年10月 9日	自然生態園	4.62	44.76
平成10(1998)年12月10日	みどりの里・ 水とこかげの 広場	0.35	45.11
平成11(1999)年 6月 2日	中央口周辺	0.08	45.19
平成13(2001)年 3月30日	木もれ陽の森	4.77	49.96
平成17(2005)年 4月 1日	光と風の広場	0.10	50.06

用地確保狀況図



事業の進捗状況

	全体事業費	平成19年度末まで	平成20年度以降
全体	378.5億円	299.6億円 (79%)	78.9億円 (21%)
用地費	310.5億円	235.8億円 (76%)	74.7億円 (24%)
整備費	68.0億円	63.8億円 (94%)	4.2億円 (6%)

費用便益比(21世紀の森と広場)

便益 (B)	直接利用価値	2, 356. 01億円
	間接利用価値 (環境)	476. 02億円
	間接利用価値 (防災)	548. 05億円
	便益計 (B)	3, 380. 08億円
費用 (C)	用地取得費	517. 15億円
	用地機会費用	2. 22億円
	施設整備費	128. 16億円
	維持管理費	129. 32億円
	費用計 (C)	776. 85億円
費用便益比	B / C	4. 35

社会経済情勢等

- 宅地開発が進み、樹林地や空地が減少しています。
- 地球規模の環境問題が提起されている今日において、自然尊重型都市公園である21世紀の森と広場の必要性がますます高まっています。

斜面林に囲まれた谷津



樹林帶





対応方針(案)

- 施設整備計画の見直しを行い、コスト削減に努めます。(管理棟、野外ステージ等)
- ボランティアとの協働でより良い公園づくりを図ります。
- 市の広域避難地として指定されている重要施設です。
- 事業用地を借地し、公園整備の承諾を得て整備し、供用していますが、本事業は収用事業であり、最終的には事業用地を全て買収します。